

おでかけだより

新春号 NO. 79

2024年1月1日



発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』

〒167-0051

杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103

TEL 03-6425-8584

FAX 03-5397-1755

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



新年あけましておめでとうございます

理事長 秋山糸織

皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2023年はいかがお過ごしでしたでしょうか。病院や福祉施設ではまだ制限がありますが、暮らしの中に「おでかけして人とふれあう時間」が戻ってきました。これまでを取り戻すように、大勢の方が「ゆうゆう桃井館・ゆうゆう善福寺館」や「けやきの見える家」に来てくださいました。

2024年も「移動サービス」「NEKOの手サポート」「杉並区外出支援相談センターもび〜る」の併せて6つの事業で、法人のめざす「誰もが自由に外出でき、安心して暮らし続けられるまちづくり」に向けて進んでいきます。

皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

移動サービス部門の料金改定について

おでかけサービス杉並では、市民活動として、利用会員の皆様の外出機会が増えることを願い利用しやすい料金設定につとめてまいりましたが、昨今の燃料費、物価高騰の波にはあきらめず、料金改定のお知らせをさせていただくこととなりました。

<経過>

2022年11月、タクシー運賃値上げにより、福祉有償運送の「運送の対価」の基準が変更されました。この時点で、すでに燃料費高騰が法人経営に負担を強いていたため、料金改定を検討いたしましたが、その後「杉並区福祉有償運送事業燃料費高騰対策等支援金」の支給を受けることができたため、区内の数団体が料金改定に踏み切る中、当法人は改定を見送ることとしました。

しかし、2023年12月現在も燃料費は高止まりしており、印刷費を始めとした諸経費も上昇しています。今年度は区の支援金支給も見込めないため、法人がこれからも活動を続けていくために、2回の理事会協議を経て料金改定を決定しました。

私たち福祉有償運送団体の利用料金（運賃）につきましては、杉並区福祉有償運送運営協議会の協議の対象となっており、その決定を同協議会に諮らねばなりません。従って具体的に新料金を適用させて頂く時期は、2024年4月以降と考えております。

ご利用者の皆様には、ご負担が増えることとなり、まことに心苦しく存じますが何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

すべての条件が整いましたら、また改めて通知させていただきます。おでかけサービス杉並は、今後も精一杯皆様の外出のお手伝いをさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



みんなの地域デビュー

ゆうゆう館は応援します！

前回の秋号でスタートの様子をお伝えした「認知症予防教室・仲間とつくろう おとこの台所&ウォーキング」

を11月末に無事終えることができました。今回は8名の参加があり、皆さん調理の腕前はまちまちながらも、回を重ねるごとに個性が際立ち、チームワーク良く活動できました。

また、ウォーキングに関しても、先生の指導を活かしそれぞれのペースや体調に合わせたウォーキングを今も継続しています。

そして、今回も修了生たちの自主グループ結成が決まりました。1月よりゆうゆう桃井館にて自主グループとしての活動がスタートします！

「おとこの台所」では、講習中から桃井館での協働事業への参加をお誘いしてきました。その甲斐あって、「秋のウォーキング」「はじめてのおとこ飯2」「お楽しみ料理教室」などにも参加していただきました。リタイア後間もない男性ならではの、澁刺として好奇心旺盛にやってみようという挑戦する姿に、若さの秘訣が見えた気がします。まさに気持ちは『Boys be ambitious』。このところ、「ももカフェ」や「桃井自習室」にも、男性の参加が広がりつつあります。

ゆうゆう桃井館では、リタイアなんて言わずにトライする皆様をいつでも応援しています。

ご来館をお待ちしております。

報告

近距離モビリティWHILL (次世代型電動車いす) の試乗会を行いました!

11/29 セシオン杉並

当日は朝から青い空がひろがる好天となりました。

コースはセシオン杉並の外周を廻るコースと、展示室で3タイプのモデルを乗り比べるコースの2通りで、WHILL社の説明も含め1回30分の試乗でした。

予約は人気の外周コースから埋まり、当日参加の方もおられたため室内コースもほとんどの時間帯が定員となりました。

参加された方は、障がいのある方やご高齢の方のみならず、若い方もおられました。

ご家族やご自身の将来を見据えて試乗してみたいという気持ちで参加された方が多く、まさに次世代のものと言えそうです。

試乗では、最初は少し控えめにゆっくりと動かされていた方も徐々に慣れて、終了間際には自由に楽々と走行できていました。室内に作った段差を何度も超えてみたり、外周コースでは歩道の長い直線でスピードを最速に上げたり、中庭で右に左にと動かしたり。降りる時には、「もっと乗っていたい」とも言ってくださいました。やはり、慣れると操作が簡単でどなたにでも乗っていただけるモビリティです。

アンケートでも「乗り心地がとても良い」「期待以上だった」、そして「楽しかった」というお声をいただきました。企画を評価していただいたコメントもあり、嬉しく思っております。

近距離モビリティ (次世代型電動車いす) という言葉は、はじめは馴染みがなかったのですが、難しく考えず、自分の行きたい場所に行けるこれからの暮らしに必要なおでかけを支える「新しい移動手段」と捉えていただけると良いかもしれません。

運転免許を返納しても、自転車での外出が難しくなっても自分の行きたい場所に行ける。

これからもおでかけしましょう。

